



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日
東

上場会社名 株式会社京写 上場取引所
 コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 専務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	24,697	△5.8	825	△35.4	547	△44.9	78	△87.3
2025年3月期	26,229	6.7	1,277	18.2	992	8.9	614	1.6

(注) 包括利益 2026年3月期 177百万円(△89.9%) 2025年3月期 1,754百万円(69.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	5.37	—	0.8	2.2	3.3
2025年3月期	42.37	—	6.8	4.1	4.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	24,961	10,137	39.6	677.93
2025年3月期	24,754	10,100	39.7	676.53

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,886百万円 2025年3月期 9,830百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,477	△571	△660	5,535
2025年3月期	1,666	△736	△761	5,273

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00	159	26.0	1.8
2026年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	72	93.0	0.7
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		30.5	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.2	1,100	33.2	800	46.2	430	449.0	29.51

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	14,624,000株	2025年3月期	14,624,000株
2026年3月期	40,587株	2025年3月期	93,687株
2026年3月期	14,572,291株	2025年3月期	14,503,984株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	9,504	4.8	△251	—	216	△24.7	140	△61.0
2025年3月期	9,068	△3.1	△404	—	287	△51.0	361	22.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	9.67	—
2025年3月期	24.93	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	15,110	7,681	50.8	526.70
2025年3月期	14,870	7,368	49.6	507.13

(参考) 自己資本 2026年3月期 7,681百万円 2025年3月期 7,368百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は2026年5月27日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の当社が属するプリント配線板業界は、国内では自動車の生産低迷が続いており、家電製品などの生産は増加したものの、需要は依然として足踏みが見られました。また、米国の関税政策による世界経済への影響、中国の景気減速、為替変動、中東情勢の緊迫化による原材料、エネルギー価格の急激な変動など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、LED照明等の家電製品や電子部品向け等の金属基板の受注増加、自動車関連分野の新規受注により、前年同期を上回りました。実装関連事業は、AIサーバー向けの受注は増加したものの、産業機器向けの受注減少により、前年同期を下回りました。これらの結果、国内の売上高はプリント配線板事業の増収により、前年同期を上回りました。

海外においては、LED照明、エアコン等の家電製品や自動車向け付加価値の高い金属基板の受注は増加したものの、自動車向け全体の受注が減少した結果、売上高は、前年同期を下回りました。これらの結果、連結売上高は24,697百万円（前年同期比5.8%減 1,532百万円の減収）となりました。

利益面は、国内で金属基板の新規量産立上げに伴う費用増加、原材料及び製造経費等の高騰に対し、継続して販売価格適正化やコスト改善等に取り組んだ結果、営業損失が縮小しました。

海外では減収の影響とインドネシアで生産拡大に向けた設備導入コストの増加等により減益となりました。

これらの結果、営業利益は825百万円（前年同期比35.4%減 451百万円の減益）、経常利益は547百万円（前年同期比44.9%減 445百万円の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は78百万円（前年同期比87.3%減 536百万円の減益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

当連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の増加265百万円、受取手形及び売掛金の減少267百万円、原材料及び貯蔵品の増加464百万円、建設仮勘定の減少394百万円、投資有価証券の増加336百万円等により、24,961百万円（前連結会計年度末比207百万円の増加）となりました。

(負債)

当連結会計期間末における負債は、主に短期借入金の増加242百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加348百万円、長期借入金の減少939百万円、繰延税金負債の増加489百万円等により、14,823百万円（前連結会計年度末比169百万円の増加）となりました。

(純資産)

当連結会計期間末における純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加300百万円、繰延ヘッジ損益の減少161百万円、為替換算調整勘定の減少105百万円等により、10,137百万円（前連結会計年度末比37百万円の増加）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度より261百万円増加し、5,535百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、1,477百万円(前年同期は1,666百万円の増加)となりました。これは主に減価償却費1,150百万円、税金等調整前当期純利益738百万円、売上債権の減少額343百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、571百万円(前年同期は736百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出895百万円、投資有価証券の売却による収入370百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少額は、660百万円(前年同期は761百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出663百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	34.4	30.3	35.3	39.7	39.6
時価ベースの自己資本比率(%)	23.0	17.1	26.0	22.0	16.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	7.0	3.7	5.1	5.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	11.0	6.0	4.5	4.8

自己資本比率：自己資本／総資本

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産額

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1)いずれも連結ベース財務数値により計算しております。

(注2)株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3)キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4)有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5)2022年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米国の関税政策による世界経済への影響や中国の景気減速に加え、中東情勢の緊迫化による為替及び原材料、エネルギー価格の急激な変動など、業績に影響を与える不確定な要素が多く、世界経済の先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは大きく変化する事業環境への対応のため、事業基盤の強化および構造改革に取り組むとともに、今後の成長を支える新分野や新市場の開拓に挑戦し、コスト構造の最適化に努めることで、更なる成長を目指してまいります。

次期(2027年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高25,000百万円、営業利益1,100百万円、経常利益800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益430百万円を見込んでおります。

なお、次期は新たな中期経営計画の初年度にあたりますが、現在策定中であるため本決算短信においては、その内容の記載をしておりません。計画の詳細につきましては、取り纏まり次第、速やかに開示する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,422	5,687
受取手形及び売掛金	3,712	3,444
電子記録債権	673	587
製品	2,123	2,062
仕掛品	713	796
原材料及び貯蔵品	1,570	2,034
その他	1,621	1,721
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	15,834	16,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,838	5,999
減価償却累計額	△4,179	△4,398
建物及び構築物(純額)	1,659	1,600
機械装置及び運搬具	13,506	13,834
減価償却累計額	△9,202	△9,599
機械装置及び運搬具(純額)	4,304	4,235
土地	724	724
建設仮勘定	420	26
その他	1,610	1,718
減価償却累計額	△1,130	△1,159
その他(純額)	480	559
有形固定資産合計	7,588	7,145
無形固定資産	140	120
投資その他の資産		
投資有価証券	592	929
前払年金費用	—	75
繰延税金資産	105	24
長期滞留債権	703	696
その他	496	334
貸倒引当金	△705	△696
投資その他の資産合計	1,192	1,363
固定資産合計	8,920	8,628
資産合計	24,754	24,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,005	3,239
電子記録債務	814	633
短期借入金	3,635	3,877
1年内返済予定の長期借入金	673	1,021
リース債務	37	42
未払法人税等	287	202
賞与引当金	268	262
その他	1,051	1,059
流動負債合計	9,774	10,338
固定負債		
長期借入金	4,098	3,158
リース債務	42	61
退職給付に係る負債	336	312
繰延税金負債	—	489
その他	402	463
固定負債合計	4,880	4,485
負債合計	14,654	14,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,222	1,241
利益剰余金	4,678	4,594
自己株式	△10	△7
株主資本合計	6,992	6,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	520
繰延ヘッジ損益	△245	△406
為替換算調整勘定	2,770	2,664
退職給付に係る調整累計額	92	176
その他の包括利益累計額合計	2,837	2,955
非支配株主持分	269	251
純資産合計	10,100	10,137
負債純資産合計	24,754	24,961

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	26,229	24,697
売上原価	21,566	20,713
売上総利益	4,662	3,984
販売費及び一般管理費	3,385	3,158
営業利益	1,277	825
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	11	16
為替差益	16	6
債務免除益	15	9
雑収入	49	27
営業外収益合計	105	71
営業外費用		
支払利息	361	311
売上債権売却損	4	5
雑損失	24	33
営業外費用合計	390	350
経常利益	992	547
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	243
特別利益合計	0	244
特別損失		
固定資産売却損	8	10
固定資産除却損	24	33
事業整理損	—	9
特別損失合計	32	54
税金等調整前当期純利益	960	738
法人税、住民税及び事業税	386	294
過年度法人税等	—	109
法人税等調整額	△67	257
法人税等合計	318	661
当期純利益	642	76
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	27	△1
親会社株主に帰属する当期純利益	614	78

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	642	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	300
繰延ヘッジ損益	△40	△161
為替換算調整勘定	987	△122
退職給付に係る調整額	149	84
その他の包括利益合計	1,112	101
包括利益	1,754	177
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,710	196
非支配株主に係る包括利益	44	△18

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102	1,202	4,208	△18	6,494
当期変動額					
剰余金の配当			△144		△144
親会社株主に帰属する当期純利益			614		614
自己株式の取得					—
自己株式の処分		20		7	28
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
その他					—
当期変動額合計	—	20	469	7	498
当期末残高	1,102	1,222	4,678	△10	6,992

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	203	△204	1,799	△57	1,741	225	8,461
当期変動額							
剰余金の配当					—		△144
親会社株主に帰属する当期純利益					—		614
自己株式の取得					—		—
自己株式の処分					—		28
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	16	△40	970	149	1,095	44	1,140
その他					—		—
当期変動額合計	16	△40	970	149	1,095	44	1,638
当期末残高	220	△245	2,770	92	2,837	269	10,100

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102	1,222	4,678	△10	6,992
当期変動額					
剰余金の配当			△159		△159
親会社株主に帰属する当期純利益			78		78
自己株式の取得		0		△5	△5
自己株式の処分		19		8	27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
その他			△1		△1
当期変動額合計	—	18	△83	2	△61
当期末残高	1,102	1,241	4,594	△7	6,930

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	220	△245	2,770	92	2,837	269	10,100
当期変動額							
剰余金の配当					—		△159
親会社株主に帰属する当期純利益					—		78
自己株式の取得					—		△5
自己株式の処分					—		27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	300	△161	△105	84	118	△18	99
その他					—		△1
当期変動額合計	300	△161	△105	84	118	△18	37
当期末残高	520	△406	2,664	176	2,955	251	10,137

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	960	738
減価償却費	1,115	1,150
引当金の増減額 (△は減少)	95	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△197	△41
受取利息及び受取配当金	△24	△28
支払利息	361	311
有形固定資産除売却損益 (△は益)	31	42
事業整理損	—	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△243
売上債権の増減額 (△は増加)	584	343
棚卸資産の増減額 (△は増加)	25	△469
仕入債務の増減額 (△は減少)	△775	280
その他	192	46
小計	2,369	2,124
利息及び配当金の受取額	24	28
利息の支払額	△367	△310
法人税等の支払額	△359	△364
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,666	1,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△677	△895
無形固定資産の取得による支出	△54	△29
有形固定資産の売却による収入	10	2
投資有価証券の取得による支出	△11	△14
投資有価証券の売却による収入	—	370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△736	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170	215
長期借入れによる収入	228	—
長期借入金の返済による支出	△615	△663
自己株式の取得による支出	—	△4
配当金の支払額	△143	△158
非支配株主への配当金の支払額	△8	—
リース債務の返済による支出	△51	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△761	△660
現金及び現金同等物に係る換算差額	363	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	533	261
現金及び現金同等物の期首残高	4,740	5,273
現金及び現金同等物の期末残高	5,273	5,535

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社であるGuangzhou Kyosha Circuit Technology Co.,Ltd.及びGuangzhou Kyosha Trading Companyが保有する有形固定資産について、第2四半期連結会計期間において使用実態を見直した結果、従来の耐用年数よりも長期間使用可能であることが明らかとなったため、耐用年数及び残存価額を将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ58百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にプリント配線板及びこれに付随する電子部品等の製造販売をしており、国内においては、当社、三和電子株式会社が、海外においては中国をKyosha Hong Kong Company Limited、Guangzhou Kyosha Circuit Technology Co.,Ltd.、Kyosha North America, Inc.、Kyosha(Thailand) Co.,Ltd.、Kyosha Malaysia Circuit Technology Sdn.Bhd.、Guangzhou Kyosha Trading Companyが、インドネシアをPT. Kyosha Indonesiaが、メキシコをKyosha de Mexico, S.A. de C.V.が、ベトナムをKyosha Vietnam Co.,Ltd.が、それぞれ担当しております。各社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インドネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	9,465	13,318	2,399	83	962	26,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	689	1,040	431	75	3,334	5,571
計	10,155	14,359	2,830	158	4,297	31,801
セグメント利益(△はセグメント 損失)	△218	1,179	6	△7	279	1,239
その他の項目						
減価償却費	295	293	30	6	491	1,117

(注) 当社は事業セグメントに資産を配分していません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インド ネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	9,935	11,237	2,457	56	1,011	24,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	736	1,397	303	78	2,898	5,414
計	10,672	12,634	2,761	135	3,909	30,112
セグメント利益(△はセグメント 損失)	△39	862	△162	△6	118	772
その他の項目						
減価償却費	397	206	64	6	477	1,152

(注) 当社は事業セグメントに資産を配分しておりません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	31,801	30,112
「その他」の区分の売上高	—	—
セグメント間取引消去	△5,571	△5,414
連結財務諸表の売上高	26,229	24,697

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,239	772
「その他」の区分の利益	—	—
セグメント間取引消去	37	52
連結財務諸表の営業利益	1,277	825

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	1,117	1,152	—	—	—	—	1,117	1,152

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	676円53銭	677円93銭
1株当たり当期純利益	42円37銭	5円37銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、潜在株式が 存在しないため記載しておりませ ん。	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、潜在株式が 存在しないため記載しておりませ ん。

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	614	78
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	614	78
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,503	14,572

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	10,100	10,137
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	269	251
(うち非支配株主持分)(百万円)	(269)	(251)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	9,830	9,886
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	14,530	14,583

(重要な後発事象)

該当事項はありません。